



セカンドハンド・ユースは、今年度 4 名の学生の奨学金支援を行います。今年も新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができていません。現在は、昨年度クラウドファンディングを通じて奨学金支援のご協力をくださった方々へ、お礼を発送する作業を進めています。カンボジアの学生から届いたお礼のメッセージを読んで、ユースの活動の意義や目的を再確認することができ、より一層頑張ろうという気持ちになりました。今年度もセカンドハンド・ユースをよろしくお願いします。



2020 年度 活動報告会開催



新型コロナウイルス拡大の影響で、対面での会議・集会の開催が難しくなっていますが、感染が落ち着いてきた 7/3 (土) に理事やボランティアの皆さんにお集まり頂き、2020 年度の活動やカンボジアの現状についてご報告しました。



昨年度は、新型コロナウイルスに振り回された 1 年となりましたが、多くの皆さんに支えられ、活動を続けることができました。ありがとうございました。引き続きご支援よろしくお願いいたします。

5月は 世界フェアトレード月間

フェアトレードの理念をより多くの人々に知ってもらうため、県内で活動している様々な団体と共に「フェアトレードまつり in かがわ 2021」を開催しました。今年は天候に恵まれたこともあり、たくさんの方にお越し頂き、サロンの生地を使って製作した新商品（表紙参照）の初お披露目にとてもふさわしい一日でした。来年も出店する予定ですので、是非お越しください♪



3月～5月までの 3ヶ月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】

青野千恵子、アベカヨコ、伊賀憲子、出原弥生、上田瞬介、奥谷照榮、柏原裕美、片山績、川崎多恵子、木村明仁子、久保幸代、久保智枝、黒田好子、小竹由美子、清水勉、白川ふみ、末澤一誠、株式会社セントラルオフィス、高瀬稔彦、高松ロータリークラブ、沼沢一朗、谷森裕子、玉置麗子、俵恵美、塚田泰代、友近規、長尾美和子、中沢力、沼田章、のぞみ総合法律事務所、林純子、林陽一、原田あつ子、河道泰宏、深田真理子、堀眞具、堀本万里子、前田洋枝、升嶋里美、松原志乃、松本崇臣、三木佳子、美濃吉広、宮地菜穂子、宮本明宜、村上和代、山本文子、横田千春、吉川伸子、吉本房子、若杉淳子、渡部御千子、市村裕子、西長良子

本部・高松店 お盆休み：8/13(金)～8/16(月)

〒760-0055 高松市観光通1-1-18

TEL: 087-861-9928

営業時間：月～金 10時～16時

定休日：土曜、日曜、祝日



片原町店 お盆休み：なし

〒760-0040 高松市片原町9-1

TEL: 087-822-3552

営業時間：月～金 10時～18時

土・日・祝日 10時～17時

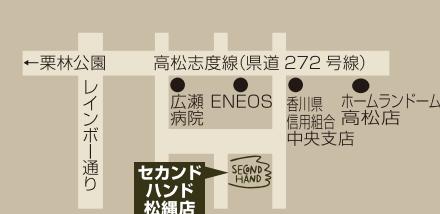
松縄店 お盆休み：8/13(金)～8/16(月)

〒760-0079 高松市松縄町37-5

TEL: 080-4999-0494

営業時間：平日11時～19時 土日11時～18時

定休日：木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/



あなたの手を、世界の誰かに。



セカンドハンド通信

新しいフェアトレード商品を入荷しました！カンボジア人が自宅でくつろぐときなどに腰巻きとして使われている「サロン」。このサロンの生地を使用して作った製品がカンボジアから到着。順次、店舗での販売を開始しますので、是非お手にとってご覧ください♪



田植えなどの外仕事をする際にも腰巻きとして大活躍

- Contents
- 子どもの自立支援
- Network
- お知らせ
- Special Thanks

<カンボジアでの新型コロナウイルス感染状況>

カンボジアでの新型コロナウイルス感染者数は6月末で5万人を超えていました。特に感染が急速に拡大した4月は、クメール正月も重なり、州間移動の禁止や複数都市でのロックダウンが行われました。国内の医療体制はひつ迫し、結婚式場等を急遽改装した隔離施設の収容者は3,000人を超え、また収容先が見つからない陽性者も1,600人を超える状況が生じました。収容されても、プライバシーがまったく無い隔離施設に長期間収容されたり、クーラーや網戸が備え付けられていない病院に収容されることが多いとも言われています。

5月以降、海外から寄贈されたワクチンの接種が進み、オフィスや工場も再開されたようですが、その後もクラスターが発生するなど、カンボジア全体の新規感染者数は6月下旬から再び増加傾向にあり、今後の感染状況については予断を許しません。



KKEV プノンペン センソック地域



ロックダウン前の補習クラスの様子



KKEVスタッフ
ピアラックさん

子ども達の家庭は、今も引き続き新型コロナウイルスの影響で厳しい状況に直面しています。現在一部でロックダウンは解除されたものの、学校は依然閉鎖されています。オンライン学習が義務付け

られていますが、この地域のほとんどの家庭にはテレビやスマートフォン等の学習機材がなく、オンライン授業を受けることができません。このような子ども達も、これまでKKEVの支援センター内のパソコンを使って学習することができましたが、現在は感染拡大防止のために支援センターも閉鎖されてしまい、唯一の学習の機会が失われてしまいました。支援センターでは食事の支給や補習クラスも休止しています。

KKEVは子ども達が通う小学校と協力し、子ども達の学習について、保護者をサポートしています。先生からオンライン授業の情報や到達目標、試験の日程などを電話で聞き取り、内容を保護者に伝達・周知して、子ども達の学習に支障や遅れが出ないように努力をしています。多くの保護者は日々の生活に精一杯で子どもの教育には関心が薄く、子ども達はKKEVスタッフからの励ましがない小学校を途中で退学してしまう可能性が高いです。新型コロナウイルスの影響により、KKEVも運営する孤児院を外部から遮断し、センソックの支援センターも閉鎖を余儀なくされるなど大変厳しい状況に追い込まれていますが、助けを必要としている子ども達のために懸命に支援に取り組んでいます。



ホームランド バantanバン州

ホームランドが支援を行う貧困地域に暮らすソムナンくん（仮名）は7歳の男の子です。薬物中毒である父親と、母親、5人の兄妹と一緒に、電気・水道・ガスのない借家（20ドル／月）で生活しています。

両親は学校へ通ったことがなく、識字能力はありません。母親が13歳の時に第一子を妊娠・出産し、長女は現在17歳です。この長女を含む3人の兄妹も、小学校低学年で学校を退学しており、簡単な読み書き計算ができる程度の学力しかありません。大きくなった長女がなんとか日雇いの仕事をすることで生活を支えていましたが、長女の稼ぎだけでは家族全員が食べていくことが難しく、2019年からセカンドハンドの支援を受けています。この支援で、日々の食事をまかない、兄妹のうちソムナンくんだけは、2020年10月から小学1年生として学校へ在籍することができました。しかし、この最低限の生活にも例外なく新型コロナウイルスの波が襲いかかりました。頼みの綱だった長女の仕事はほとんどなくなり、今は日々の食事も十分に摂ることができない状況に追い込まれています。



このような厳しい状況下で生活しているのは、ソムナンくんの家庭ばかりではありません。ホームランドが支援を行う家庭の多くは、新型コロナウイルスの影響により稼ぎ頭の仕事が激減したことで、日々の生活に困窮する状況が続いています。セカンドハンドでは、このような貧困家庭に対する食糧支援のために、寄付金を募集します。皆様のご協力よろしくお願い致します。また、継続的な支援をお考えの方には、ホームランドの活動を支えて頂くことで子ども達の支援を行うフォスターペアレント制度でもご支援頂けます。



家庭訪問を行い、手洗い指導をするスタッフ

フォスター ペアレント制度

貧困地域の子ども達の、食事を始めとする生活費、教育費、親への支援費、地域住民に対するHIV教育などの実施にかかる経費など、ホームランドの活動を支援することによって、子ども達を支援します。

- 【開始時期】随時月々3,000円もしくは5,000円(1年一括36,000円／60,000円)
- 【支援額】子どものレポートが年2回、ホームランドの年次報告書が年1回届きます
- 【活動報告】視察渡航時に、手紙や写真をお預かりして届けます
- 【交流】面会も可能ですが（自費での渡航になります）

この食糧支援へご協力頂ける方は、同封の払込取扱票のメッセージ欄に「ホームランド食糧支援」とご記入ください。

 皆様のご協力よろしくお願い致します。